

※1…過去の調査から継続設置し、経年変化を見る設問 ※2…R3年度調査から新たに追加した設問

設問番号	経年※1	新規※2	H28調査からの変更・修正の有無(軽微なものを除く)	意図・目的
------	------	------	----------------------------	-------

(1. 人権についての考え方)

1	○			人権の基本理念に対する理解を深めることを人権教育・啓発の基本的な考え方の一つとしており、人権尊重をどのように認識しているか、自由・平等・差別がないだけでなく、個人の持つ可能性を発揮できる機会が認められることなど、人権尊重の認識が深まっているか、また、貧困や格差が問題になる中で、社会権としての人権が理解されているかを経年変化とともに把握し、人権教育・啓発活動の充実に役立てる。
2	○			前回調査の検討時には施行されていなかったいわゆる人権三法のほか、県の関係条例に関する認知度を確認することにより、人権教育・啓発活動の充実に役立てる。
3		○		前回調査の検討時には施行されていなかったいわゆる人権三法のほか、県の関係条例に関する認知度を確認することにより、人権教育・啓発活動の充実に役立てる。

(2. 自分が人権侵害を受けた経験および対応)

4	○		○	人権侵害の現状(どのくらい、どこで、どのような)および対応について、全体像を経年変化とともに把握し、人権啓発や相談支援体制の充実に役立てる。
---	---	--	---	--

(3. 人権侵害を見聞きした経験および対応)

5	○		○	人権問題を解決するには、「傍観者をなくす」ということが重要であり、そうした場面に遭遇した場合の対応について、全体像を経年変化とともに把握し、人権啓発や相談支援体制の充実に役立てる。
---	---	--	---	--

(4. 人権の個別分野ごとの課題)

6	○			女性の人権についての県民の意識を把握し、啓発等の充実に役立てる。
7	○			子どもの人権についての県民の意識を把握し、啓発等の充実に役立てる。
8	○			高齢者の人権についての県民の意識を把握し、啓発等の充実に役立てる。
9	○			障害者の人権についての県民の意識を把握し、啓発等の充実に役立てる。
10	○		○	外国人の人権についての県民の意識を把握し、啓発等の充実に役立てる。併せて、昨今大きな問題となっているヘイトスピーチに対する県民の意識を把握し、啓発等の充実に役立てる。
11	○		○	エイズやハンセン病等の感染症患者やその家族等の人権についての県民の意識を把握し、啓発等の充実に役立てる。
12		○		現在大きな問題となっている新型コロナウイルス感染症に関する人権問題についての県民の意識を把握し、啓発等の充実に役立てる。
13	○			医療の現場における患者の人権についての県民の意識を把握し、啓発等の充実に役立てる。
14	○			犯罪被害者等の人権についての県民の意識を把握し、啓発等の充実に役立てる。
15	○		○	LGBTなどの多様な性のあり方に関する人権問題についての県民の意識を把握し、啓発等の充実に役立てる。
16	○			インターネット上の人権侵害についての県民の意識を把握し、啓発等の充実に役立てる。

(5. 同和問題についての考え方)

17	○		○	同和問題についての認知度ならびに初めて知ったきっかけを把握し、啓発等の充実に役立てる。
18		○		同和問題に関するインターネット上での人権侵害事例を見聞きした経験の有無の状況を把握し、啓発等の充実に役立てる。
19		○		部落差別の有無に関する県民の認識を把握し、啓発等の充実に役立てる。
20		○		被差別部落出身者に対する県民の認識を把握し、啓発等の充実に役立てる。
21	○		○	同和問題を解決するための様々な考え方についてどう思うかを経年変化とともに把握し、啓発等の充実に役立てる。
22	○		○	同和問題の解決に向けた思いを経年変化とともに把握し、啓発等の充実に役立てる。

(6. 人権の尊重や侵害についての考え方)

23	○			科学的に根拠のない風習・迷信で行動を制限することは偏見や差別につながるため、身近にある風習・迷信の不合理に気付くことを啓発しており、そういったものに関する県民の意識を経年変化とともに把握し、啓発等の充実に役立てる。
24	○			不動産取引にかかる忌避意識があるかを経年変化とともに把握し、啓発等の充実に役立てる。

設問番号	経年※1	新規※2	H28調査からの変更・修正の有無 (軽微なものを除く)	意図・目的
------	------	------	--------------------------------	-------

(6. 人権啓発について)

25	○			啓発活動の効果を測定するための活動の周知状況、研修会参加状況を把握し、啓発手法の改善に役立てる。
26	○			

(7. 人権が尊重される社会の実現に向けての考え方)

27	○		○	<p>人権教育・啓発の成果として、人権尊重の社会づくりに積極的に積極的に関わろうとする人がどのくらいいるかを経年変化とともに把握し、人権教育・啓発活動の充実に役立てる。</p> <p>また、「なりゆきにまかせる」と回答した人について、そのように回答した理由を把握し、今後の人権施策全体の推進の検討に役立てる。</p>
----	---	--	---	--